

世界に満ちる様なないのち
モノやコトにも宿るいのち
あの世とこの世を結ぶいのち
太古から未来へ継がれるいのち
そんないのちと共にあること
共にある私を確かめること
それが「ともいき」です

法然共生フォーラム

ともいき

いのちを慈しむ知恵

in 横浜



■第一部…ともいきがたり（講演）
「親と子の共生」

茂木健一郎（脳科学者）

子育てとは 親子で一緒に
子どもの中にある「宝探し」をすること
親と子が 共に生き互いに学びあうために
何が必要か 語っていただきます

■第二部…ともいき談義

竹田津実（作家・獣医）

西館好子（日本子守唄協会代表）

宮林昭彦（浄土宗僧侶）

茂木健一郎（脳科学者）※コメンテーター

高田公理（佛教学教授）※コーディネーター



西館好子



竹田津実



書・紫舟

今回のテーマ:

親と子の共生

—太古と未来の絆—

親子…煩わしくも愛おしい 悠久の共生関係
親は未来の先祖 子は太古の子孫
親に学ぶものは何か 子に教わるものは何か
その絆の本来と未来を考えます

参加無料

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成22年 2月16日(火) 18時30分より
(18時開場/21時15分終了)

会場：新都市ホール (横浜市西区高島町<そごう9階>)

主催：浄土宗 後援：東京新聞 特別協力：法然上人をたたえる会
協力：総本山知恩院（京都）大本山増上寺（東京）大本山金戒光明寺（京都）大本山知恩寺（京都）
大本山清浄華院（京都）大本山善導寺（久留米）大本山光明寺（鎌倉）大本山善光寺大本願（長野）

法然共生フォーラム

とも いき

～いのちを慈しむ知恵～

こころは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの見えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる遙かな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。



茂木健一郎

(脳科学者)

もぎ けんいちろう

1962年、東京生まれ。東京大学理学部・法学部卒、同大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードに脳と心の間接関係を研究。NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」キャスター。著書に「脳とクオリア」「生きて死ぬ私」「心を生み出す脳のシステム」「脳と創造性」「脳の中の人生」「脳を活かす勉強法」など。



竹田津 実

(獣医・作家)

たけたつ みのる

1937年、大分県生まれ。野生動物に憧れ獣医として北海道に赴任。キタキツネの生態調査をはじめ、傷ついた野生動物の保護・治療・リハビリに取組む。映画「キタキツネ物語」の企画・動物監督を務め、写真家としても活躍。著書に、映画化された「子ぎつねヘレンがのこしたものはじめ」「野生からの伝言」写真集「えぞ王国～北海道動物記」絵本「どうぶつさいばん ライオンのしごと」など。



西館好子

(日本子守唄協会代表)

にしだて よしこ

東京・浅草生まれ。1982年劇団こまつ座主宰、演劇のプロデュースを手掛ける。1985年、第20回紀伊国屋演劇団体賞を受賞。1995年スポーツニッポン文化大賞受賞。30年に及ぶ演劇活動、DV・子供の虐待・女性問題への活動などを経て、2000年日本子守唄協会設立。現在は女性史の一つともいえる子守唄に取り組んでいる。(社)日本民族音楽協会副理事長。



宮林昭彦

(浄土宗僧侶)

みやばやし しょうげん

1932年、長野市生まれ。大正大学大学院修士課程修了。大正大学仏教学部教授、同人間学部長を歴任し、'01年より浄土宗大本山光明寺(鎌倉市)法主に就任。日韓仏教交流協会会長。日中友好宗教懇話会顧問。著書に『仏教とその流れ』『法然上人と浄土宗』『授戒』『中国仏教戒律』『南海奇帰内法伝』『看病用心鈔』など。



高田公理

(佛教学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授などを経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『にっぽんの知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

■「親と子の共生～太古と未来の絆」について

父母なしに子は生まれない。生まれた子は、両親から受け継いだ遺伝子の描くプログラムに沿って育っていく。

ただ、人間は弱い哺乳類だ。過酷な自然を生き延びるために大集団を形成するようになった。2、30万年も昔、アフリカの大地での話である。以来、人間の子供は、じつに多様な個性の人間を眺め、その影響を受けて育ってきた。

ところが今日、核家族化が進み、地域社会のつながりは薄れた。両親以外の大人に、子供たちが接する機会は極端に減った。ここに深刻な問題が生じる。どんなに普通に見える両親も、人の個性の多様性に思いを馳せれば、みな「特殊にずれた存在」なのだ。にもかかわらず子供たちは、そのことに気づかず育っていく。

ひと昔まえには「親がなくとも子は育つ」と言った。「親はあっても子は育つ」と言い放つ人さえいた。同じことが現代にも通じるか。

「子は親なしに育つべきだ」というのではない。ただ「親と子の共生」は、それを取り巻く「より広大な世界との共生」を、いよいよ強く求め始めている。

高田公理(コーディネーター)

日 時:平成22年2月16日(火)
18時30分～21時15分

会 場:新都市ホール

次 第

18:30～ 開会挨拶

■第1部:ともいきがたり

茂木健一郎

19:20～ <休憩>

19:35～ 浄土宗の活動紹介

■第2部:ともいき談義

竹田津 実・西館好子・宮林昭彦

茂木健一郎・高田公理

参加応募方法

参加は無料です。抽選で900名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**1月26日(火)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区鰻頭屋町595-3 **法然共生フォーラム事務局「横浜」係** ※「横浜」係と必ず明記願います

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

参加ご応募に必要な個人情報第三者に対して開示・提供することは一切ありません。